

2019年3月期 (平成31年3月期)

第2四半期 決算経営報告

PART - 1. 決算概要

- ・2019年3月期 第2四半期 決算実績
- ・2019年3月期 通期 業績予想

PART - 2. 経営報告

- ・第2次中期経営計画 進捗状況

2018年11月28日
三菱製紙株式会社

2019年3月期 第2四半期 決算実績

(単位 : 億円、%)

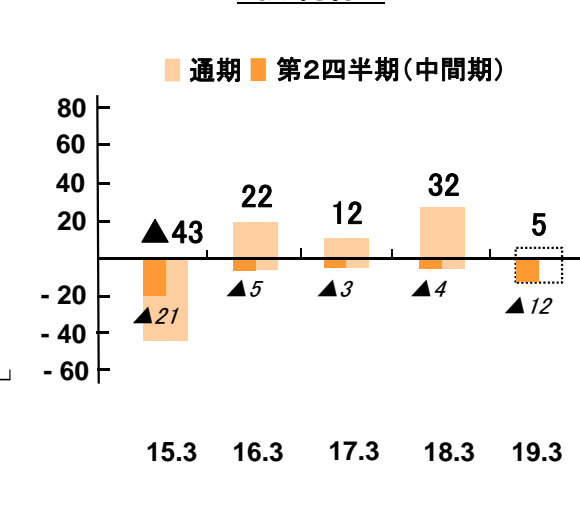
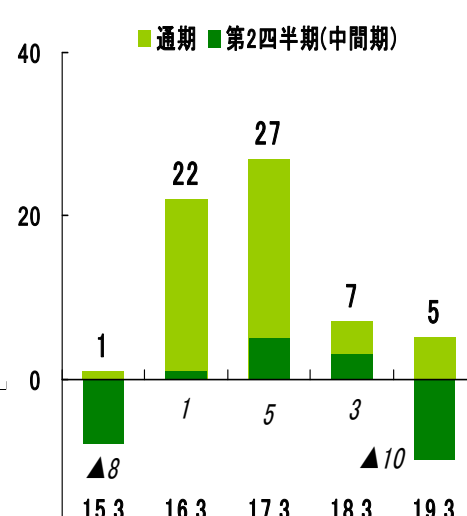
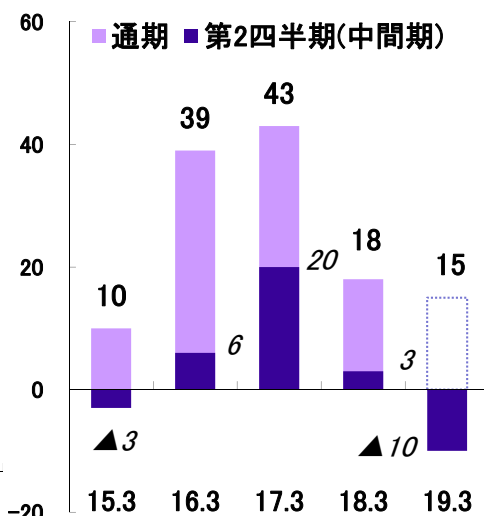
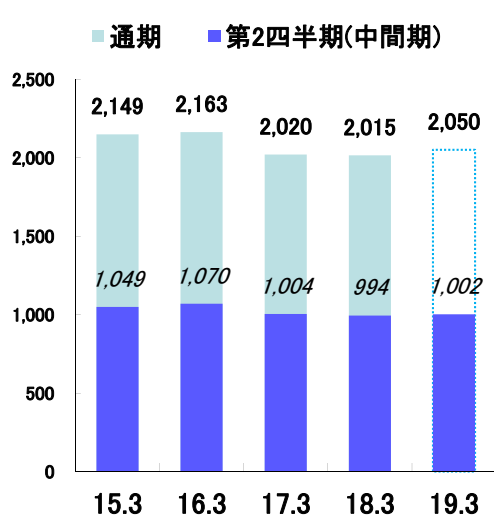
	2018年3月期 第2四半期累計期間		2019年3月期 第2四半期累計期間		前年同期比	
	金額	売上高利益率	金額	売上高利益率	金額	増減率
売上高	994	—	1,002	—	8	0.8
営業利益	3	0.3	▲10	▲1.0	▲13	—
経常利益	3	0.3	▲10	▲1.0	▲13	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲4	▲0.4	▲12	▲1.2	▲8	—

売上高

営業利益

経常利益

親会社株主に帰属する
当期純利益



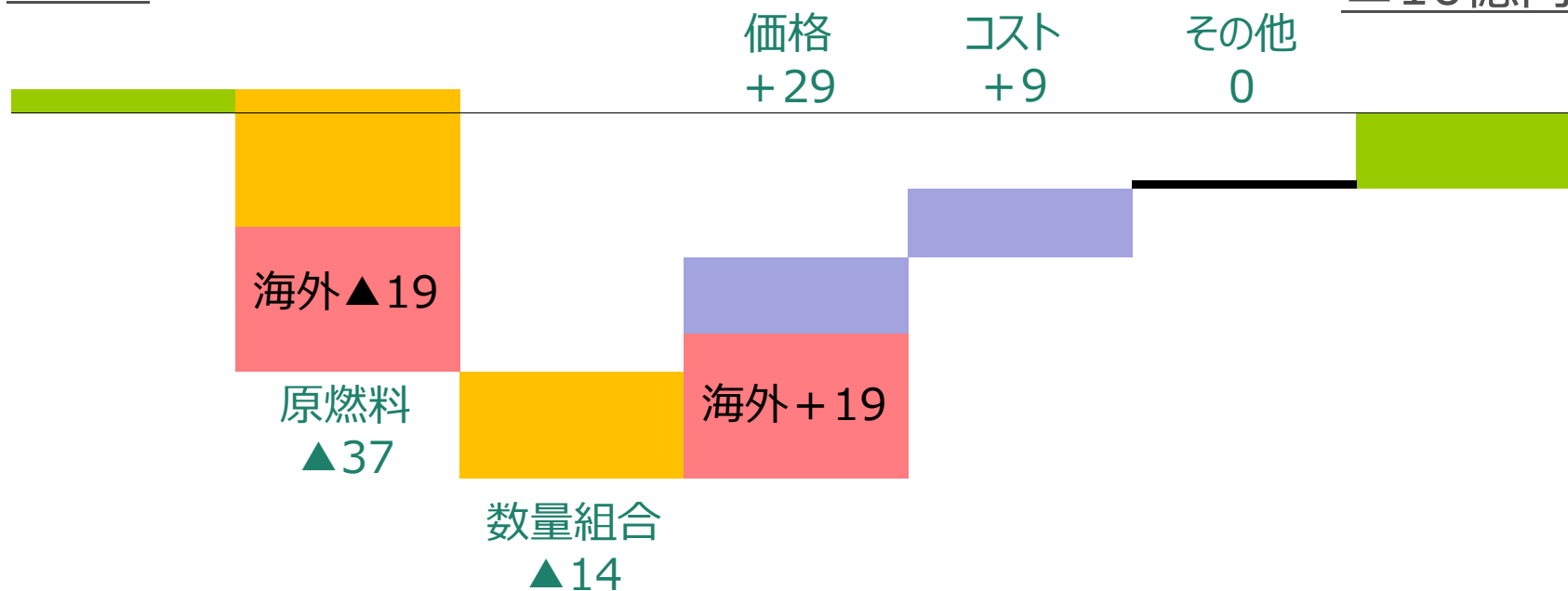
(単位：億円、%)

		2018年3月期 第2四半期累計期間	2019年3月期 第2四半期累計期間	増減額	増減率
売上高	紙パルプ [°]	747	771	24	3.3
	イメージング	187	175	▲12	▲6.5
	機能材	86	83	▲3	▲4.6
	倉庫・運輸、その他	89	74	▲15	▲16.3
	消去	▲115	▲101	14	—
	合計	994	1,002	8	0.8
営業利益	紙パルプ [°]	▲5	▲14	▲9	—
	イメージング	1	2	1	197.4
	機能材	7	2	▲5	▲74.1
	倉庫・運輸、その他	1	1	▲0	▲40.8
	消去	▲1	▲1	0	—
	合計	3	▲10	▲13	—

2019年3月期 第2四半期累計期間

18年3月期上期
3億円

19年3月期上期
▲10億円



- ・原燃料：パルプ▲14、薬品▲13、チップ▲5、石炭▲3、重油▲2
- ・数量組合：紙パ▲6、イメージング▲7、機能材▲1
- ・価格：紙パ+24、イメージング+5、機能材0

(単位：億円、%)

	2018年3月末		2018年9月末		前期末比
	金額	構成比	金額	構成比	金額
資産合計	2,374	100.0	2,314	100.0	▲60
流動資産	1,043	43.9	989	42.7	▲54
固定資産	1,331	56.1	1,325	57.3	▲6
有形固定資産	997	42.0	990	42.8	▲7
無形固定資産	17	0.7	17	0.7	▲0
投資その他の資産	317	13.4	318	13.8	1
負債合計	1,763	74.3	1,712	74.0	▲51
流動負債	1,172	49.4	1,194	51.6	22
固定負債	591	24.9	518	22.4	▲73
純資産	611	25.7	602	26.0	▲9
有利子負債	1,193	-	1,108	-	▲85

キャッシュ・フロー計算書 <連結>

(単位：億円)

	2018年3月期 第2四半期累計期間	2019年3月期 第2四半期累計期間	増減
	金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	85	100	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲44	▲23	21
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲42	▲85	▲43
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	1	▲2
現金及び現金同等物の増減額	2	▲7	▲9
現金及び現金同等物の期首残高	108	97	▲11
現金及び現金同等物の期末残高	110	90	▲20

2019年3月期 通期業績予想

(単位：億円、%)

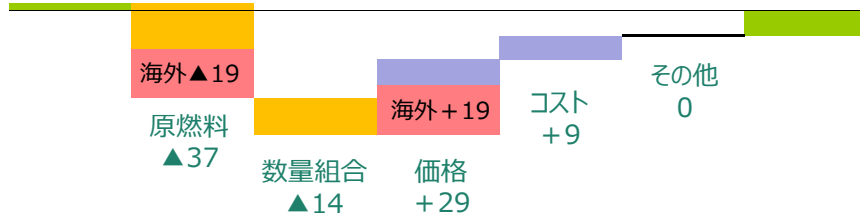
	2018年3月期			2019年3月期			増減					
	上期	下期	通期	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期		下期(予想)		通期(予想)	
							金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
売上高	994	1,021	2,015	1,002	1,048	2,050	8	0.8	27	2.6	35	1.7
紙パルプ	747	775	1,522	771	799	1,570	24	3.3	24	3.1	48	3.2
イメージング	187	182	369	175	190	365	▲12	▲6.5	8	4.4	▲4	▲1.1
機能材	86	84	170	83	97	180	▲3	▲4.6	13	15.5	10	5.9
倉庫・運輸、 その他	89	80	169	74	71	145	▲15	▲16.3	▲9	▲11.3	▲24	▲14.2
消去	▲115	▲100	▲215	▲101	▲109	▲210	14	-	▲9	-	5	-
営業利益	3	15	18	▲10	25	15	▲13	-	10	66.7	▲3	▲16.2
経常利益	3	4	7	▲10	15	5	▲13	-	11	275.0	▲2	▲23.4
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲4	36	32	▲12	17	5	▲8	-	▲19	▲52.8	▲27	▲84.4

下期予想の前提： 1 \$ = 110円、 1€ = 130円、 ドバイ原油相場 1 バレル = \$ 70

18年3月期上期
3億円

上期比較 (実績)

19年3月期上期
▲10億円

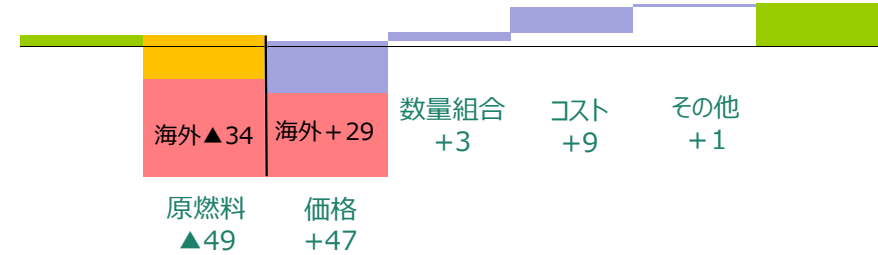


- ・原燃料：パルプ▲14、薬品▲13、チップ▲5、石炭▲3、重油▲2
- ・数量組合：紙パ▲6、イメージング▲7、機能材▲1
- ・価格：紙パ+24、イメージング+5、機能材0

18年3月期下期
4億円

下期比較 (予想)

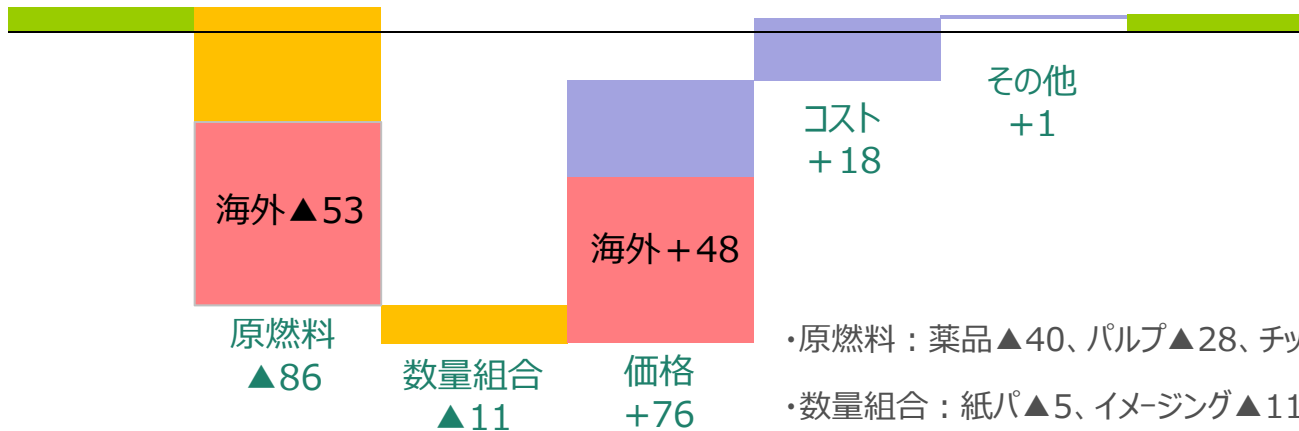
19年3月期下期
15億円



- ・原燃料：薬品▲27、パルプ▲14、チップ▲5、石炭▲3、重油▲1
- ・価格：紙パ+43、イメージング+2、機能材+2
- ・数量組合：紙パ+1、イメージング▲4、機能材+6

通期比較 (予想)

18年3月期
7億円



- ・原燃料：薬品▲40、パルプ▲28、チップ▲10、石炭▲6、重油▲3
- ・数量組合：紙パ▲5、イメージング▲11、機能材+5
- ・価格：紙パ+67、イメージング+7、機能材+2

	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末	2018年9月末	2019年3月末 (予想)
有利子負債	1,388億円	1,257億円	1,193億円	1,108億円	1,060億円
減価償却費	107億円	105億円	105億円	51億円	102億円
設備投資額 (計上ベース)	49億円	60億円	74億円	51億円	120億円
従業員数	3,697人	3,734人	3,723人	3,728人	3,690人

第2次中期経営計画 進捗状況

1 洋紙事業の構造改革

- 徹底した構造改革、王子グループとのアライアンス強化により、外部環境に左右されにくい安定収益構造を実現する。
- 流通体制・物流体制の最適化を図る。

2 収益基盤の充実

- 富士フイルム(株)とのアライアンスを強化し、効率的生産体制を構築する。
- 三菱製紙の強みとポジショニングを活かした収益基盤事業を充実させる。

3 新規事業の育成

- 王子グループと共同でバイオマス発電事業を立ち上げる。
- 新規事業を戦略的に育成する。
- 注力分野に対して、厳選された戦略的・選択的な投資を行う。

4 収益力を支える業務基盤・財務基盤の強化

- 事業構造の改革に向けて業務プロセス・IT基盤の再構築を図る。
- 震災前レベルまで圧縮した有利子負債の削減を進め、財務基盤を更に強化する。

アライアンスによる収益の安定化

基本戦略

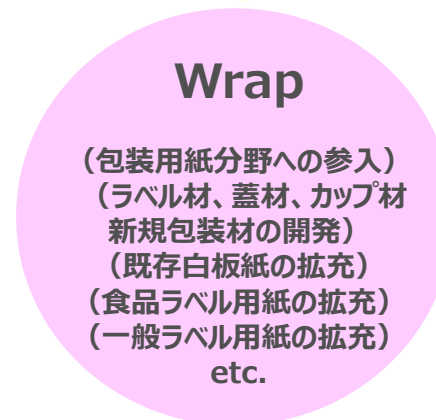
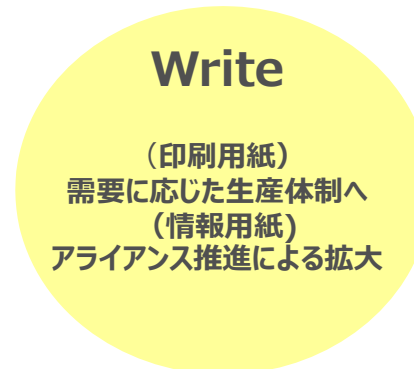
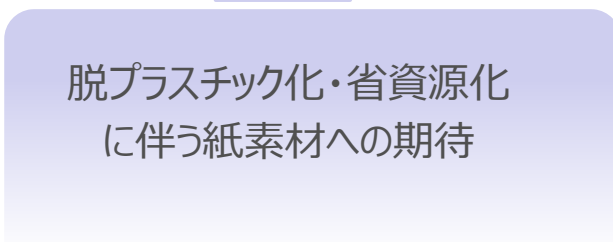
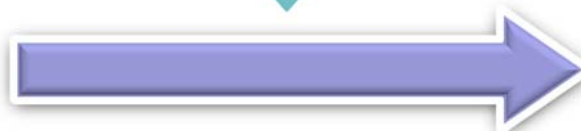
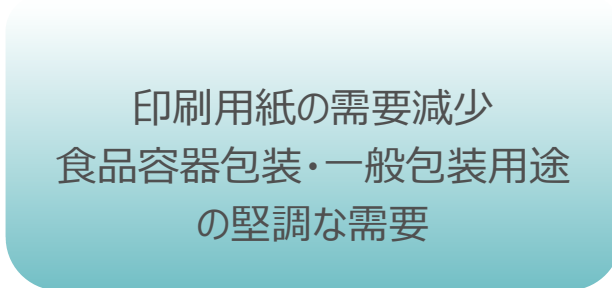
外部環境に左右されにくい安定した収益構造の構築

重点課題	中計2年半の取り組み	中計期間中の目標
OEMの戦略的拡大	<ul style="list-style-type: none"> 王子グループとのアライアンスは順調に拡大 	⇒ アライアンスを推進し、情報・特殊紙を増販
工場稼働率の維持	<ul style="list-style-type: none"> OEM、輸出等の拡大やパルプの外販強化 需要動向に合わせた生産体制として、八戸4号抄紙機を運転休止 	⇒ OEMや輸出等の拡大によりフル操業を継続
製販一体によるサプライチェーン効率化	<ul style="list-style-type: none"> 販売/生産体制の機能合理化を推進 配置見直し、直送強化等により、在庫水準適正化 	⇒ 販社との役割見直しによる効率化の推進 ⇒ 物流体制最適化による在庫削減の推進
製品価格改定	<ul style="list-style-type: none"> 輸送調整金制度の導入（9/21受注分より） 印刷用紙、情報用紙について価格改定リリース（2019年1月1日出荷分より） 白板紙は引き続き取組中 	⇒ 印刷用紙、情報用紙、白板紙の価格改定
ドイツ事業の収益力向上	<ul style="list-style-type: none"> 収益を重視した受注を実施 製造歩留向上と原材料調達が多様化 新商品の顧客数拡大 	⇒ 価格重視の販売政策 ⇒ 資材、製造、エネルギーでのコストダウン ⇒ 新商品の市場投入と拡販

印刷用紙からの生産品目転換

【生産比率】

（第2次中計スタート時 → 現在）



62→54% 

28→33% 

9→12% 

1% 
⇒ 2019年4月より
合弁事業開始

既存生産品目

生産品目の転換

イメージング事業	中計2年半の取り組み (数値は19/3上実績)	中計期間中の目標
アライアンスの拡大	<ul style="list-style-type: none"> 富士フイルムとのアライアンス拡大により写真用原紙の供給量は16/3期比 1.5倍 	⇒ アライアンスを一層強固にして、写真用原紙の生産・供給量を更に拡大
既存商品の拡充	<ul style="list-style-type: none"> アジア向 RCベース IJ の売上数量は16/3期比 1.3倍 デジタルスクリーン製版機 (MDS-360) の海外展開開始 無線綴じ製本機に加え、上製本加工機を開発中 	⇒ アジアほか新興国で RCベース IJ の売上数量を毎年、前年比 1.1倍で拡大 ⇒ MDS-360を、主に国内で 100台以上設置 ⇒ 印刷後加工機材のラインアップを充実
機能材事業	中計2年半の取り組み (数値は19/3上実績)	中計期間中の目標
不織布関連商品の更なる成長	<ul style="list-style-type: none"> 水処理膜支持体：売上は16/3期比 1.4倍 バッテリーセパレータ：中国の大手セパレータメーカー及び大手電池メーカーへの展開 	⇒ 水処理膜支持体は売上を 2.3倍 ⇒ バッテリーセパレータは売上を 3倍
アジア・欧州市場での販売拡大	<ul style="list-style-type: none"> フィルター：全熱交換商品の海外売上は16/3期比 2.1倍 テープ原紙：欧州市場での売上は16/3期比 2.2倍 リライトメディア：中国の大口案件を受注 	⇒ 家電向けのアジア拡販、キャビンフィルターの中国市場開拓、全熱交換商品の中国・欧米拡販 ⇒ 欧州市場での売上 1.5倍 ⇒ 中国拡販とASEANでの商品立上げ
業務基盤の強化	中計2年半の取り組み	中計期間中の目標
業務構造改革	<ul style="list-style-type: none"> 業務プロセス・IT基盤再構築プロジェクト推進中 人事領域は、画面申請によるワークフロー化やデータの自動連携による工数削減、検索・集計機能の有効活用 グループ内の経理部門集約、資金調達一元化、支払業務統一など業務効率化を推進 	⇒ 経営戦略に柔軟に対応できる業務基盤の整備完了

家庭紙事業

エム・ピー・エム・王子ホームプロダクツ

(三菱製紙 70%、王子ネピア 30% 出資)

- 生産品種 : ティッシュ、トイレトロール
- 生産量 : 約 18,000 t/年
- 投資額 : 約 50億円

10月20日 抄紙機据付開始



2019年4月 事業開始 (予定)



八戸

建設中の建屋と製造設備

バイオマス発電事業

エム・ピー・エム・王子エコエネルギー

(三菱製紙 45%、王子グリーンリソース 55% 出資)

- 設備能力 : 約 75,000 kW (発電能力)
- 売上高 : 約 110億円/年
- 投資額 : 約 240億円

11月 1日 電力会社との接続開始



2019年7月 事業開始 (予定)



八戸

建設中のバイオマスボイラー

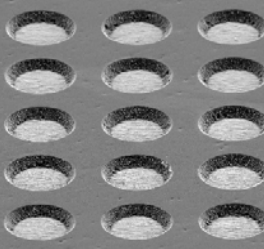
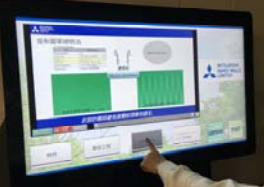
京都工場の機能性フィルム塗工設備(コーター)は試運転を開始

- 生産品種 : 機能性フィルム製品 (エレクトロニクス関連商品ほか)
- 売上高 : 約 20億円
- 投資額 : 約 15億円

2019年1月 営業運転 (予定)



京都

領域	考えられる用途	特長	現在の状況
感光性 レジスト	 <p>5kV 15kV WD:36mm 6552 x100 Sample</p> <p>難加工絶縁樹脂エッチング品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 高い耐性と密着力 ▶ 溶解剥離性 ▶ 高耐薬品性 ▶ 高解像度 ▶ 難加工絶縁樹脂のエッチングが可能 	<ul style="list-style-type: none"> • ドライフィルムレジスト等の品揃え拡充と量産品に採用 <ul style="list-style-type: none"> - ケミカルミーリング用途 - サンドブラスト用途 - 高耐薬品グレード - 高解像度グレード → エレクトロニクス分野で量産品に採用 • 絶縁樹脂エッチングシステムの上市
導電性 フィルム	 <p>タッチパネル</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 大型タッチパネル対応の銀メッシュフィルム 	<ul style="list-style-type: none"> • 付加価値を加えた貼合品の加工適性を向上し、顧客要望に応じて商品化を提案 • 導電性向上品を上市して、大型パネルのベゼルフリー化に対応

傾斜ワイヤー抄紙機の稼働

- 生産品種：無機繊維紙、ワイパー用紙、合成繊維紙、コットンペーパー等
- 設置場所：K J 特殊紙(株) 富士工場

2018年11月 営業運転開始



電気自動車(EV)向け リチウムイオン電池セパレータの技術協力

◎ 中国大手電池メーカー

北京国能電池科技股份有限公司

- 中国EVバス用電池で5位の実績(2017年)
- リン酸鉄系電池から
高性能三元系電池へ展開中
(長距離走行可能なEV向けに
安全性の高い不織布セパレータを検討)




北京国能社電池



調印式 (9月21日)

事業化に向けて進めている新規事業

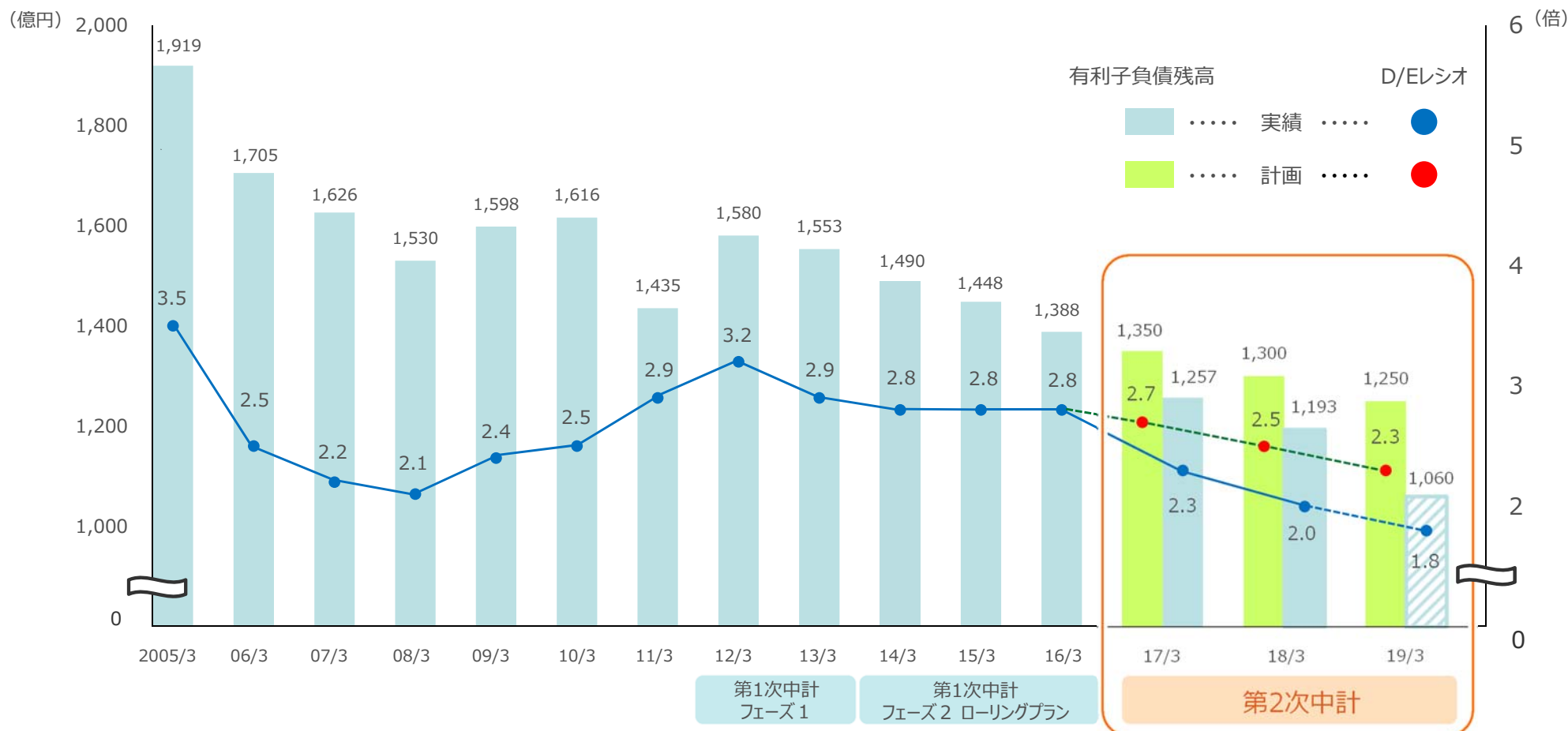
領域	考えられる用途	特長	現在の状況
デジタル 捺染紙	 捺染した テキスタイル	▶ 新開発の テキスタイル用D捺染紙	・昇華転写紙【ポリエステル生地用】 <ul style="list-style-type: none"> - 米州向け銘柄拡大とアジア地域への拡販 - 国内市場向け自社ブランド発売 ・熱圧転写紙【綿・ナイロン生地用】 <ul style="list-style-type: none"> - 試験販売に向けた作り込み開始

その他 取り組んでいる新規事業

領域	特長	領域	特長
カーボン ナノチューブ関連	▶ 高濃度分散技術 ▶ 自社保有技術を組み合わせた商品 (採用例：寒冷地の機械凍結防止用ヒーター)	TOUCHCARD	▶ スマホにタッチし、簡単に webページへアクセス (採用例：サッカーJ2 横浜FCの選手カード)
セルロース繊維 強化樹脂	▶ 天然セルロース繊維を利用した成形材料 ▶ 軽量化、高強度、高弾性	アプリ開発	▶ AR技術を活用した表示方法 ▶ 印刷データをベースに、スマホコンテンツを簡単作成 (採用例：岩手県北上市 観光イベント案内)
再生炭素繊維不織布 「カーボプラス・リフ」	▶ リサイクル炭素繊維を積極利用した不織布 ▶ 繊維分散が均一。導電性、シールド性、 寸法安定性、耐熱性、低コスト、環境配慮	医療関連製品	▶ 医療ニーズから生まれた ニッチ商品 (ガラス化凍結保存用デバイス「ディアムール」 の販売を開始)
薄膜電磁波 シールド材	▶ 高導電性、極薄(10μm以下)・高強度 ▶ スマホ、タブレット向け		

震災前レベルまで圧縮した有利子負債の削減を進め、財務基盤をさらに強化

	2016年3月末 実績	2017年3月末 実績	2018年3月末 実績	2018年9月末 実績	2019年3月末 中計目標値	2019年3月末 予想	中計3か年の 目標改善幅	中計2年間半の 実績
有利子負債	1,388億円	1,257億円	1,193億円	1,108億円	1,250億円	1,060億円	138億円 削減	280億円 削減
D/ELシオ	2.8倍	2.3倍	2.0倍	1.9倍	2.3倍	1.8倍	0.5 改善	0.9 改善



事業環境の悪化により、実績・予想値は計画から乖離

(単位：億円)

	2016年 3月期	第2次中計 1年目			第2次中計 2年目			第2次中計 3年目		
		実績	計画	実績	差異	計画	実績	差異	計画	予想
売上高	2,163	2,200	2,020	▲180	2,250	2,015	▲235	2,300	2,050	▲250
営業利益	39	45	43	▲2	55	18	▲37	65	15	▲50
経常利益	22	25	27	2	35	7	▲28	45	5	▲40
有利子負債	1,388	1,350	1,257	93 削減	1,300	1,193	107 削減	1,250	1,060	190 削減
D/Eレシオ：倍	2.8	2.7	2.3	0.4 改善	2.5	2.0	0.5 改善	2.3	1.8	0.5 改善
自己資本比率	20.4%	21.2%	23.1%	1.9 改善	21.8%	25.2%	3.4 改善	23.2%	26.0%	2.8 改善

		第2次中計 前提数値	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	2019年3月期 上期実績	2019年3月期 下期設定
為替	米ドル	115円	109.03円	110.81円	110.07円	110.00円
	ユーロ	125円	119.37円	129.45円	129.88円	130.00円
原油	ドバイ	45 \$/BBL	46.95 \$/BBL	55.86 \$/BBL	73.19 \$/BBL	70.00 \$/BBL

第三者割当増資は
含まず

◎ 輸送調整金制度の導入

- ・対象製品：印刷・情報用紙全般（実施時期：2018年9月21日 受注分より）
- ・調整金額：八戸工場・高砂工場を基点として、配送先地域別にキログラムあたりの単価を設定



継続的な製品輸送力確保の為、調整金制度として導入

- ・全国を7地域に分類
- ・生産工場と配送先の距離に応じて単価を設定

◎ 八戸 4号抄紙機の運転休止

- ・減産量：120,000トン/年（八戸工場 年産 72万トン→60万トン）（休止時期：2018年11月末）
- ・減産品種：塗工紙



需要動向に合わせた生産体制の早期確立と生産効率向上

- ・パルプ外販増、売電増
- ・銘柄組合せ良化
- ・修繕費等削減

◎ 希望退職者募集による労務費削減（2018年3月期比）

- ・人数：三菱製紙グループで合計70名を募集（実施時期：2018年末～2019年1月退職）



2019年3月期
1億円

2020年3月期はフルに寄与（+5億円）

2020年3月期
6億円

◎ 製品価格の改定

- ・対象製品：印刷・情報用紙全般（実施時期：2019年1月1日 出荷分より）
- ・改定幅：輸送調整金制度と併せ、「印刷用紙+20%以上、情報用紙+10%以上」



再生産可能な収益を確保

単発的な協業関係 ⇒ 複数事業で更なる協業関係の拡大へ

2007年～

情報用紙分野

2019年4月～

家庭紙事業

2019年7月～

バイオマス発電事業

★ 国内外 競争法のクリアランスを取得

公正取引委員会の審査は、第2次審査中

各種の業務提携

- ・ 事業基盤の強化
- ・ 競争力の強化
- ・ 協業機会の拡大

国内のシナジー効果

ドイツ事業への王子の参画

その他提携

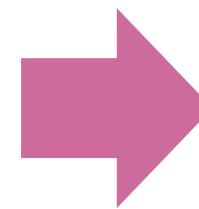
資本提携：王子ホールディングスが当社株式の 33%を所有



%：当社株式における王子ホールディングスの所有比率

国内のシナジー効果例 ～ 収益改善効果 **年間25億円**以上

- ① 合併事業等への新規設備投資
- ② 原燃料コスト削減
- ③ 供給物流コスト削減
- ④ チップ調達物流コスト削減
- ⑤ 生産体制の効率化



長期的パートナーとして
相互協力をさらに
加速・発展

本資料における予想数値や業績見通しに関する記述は、現時点における将来の経済環境予測や入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の実際の決算・業績数値とは異なる可能性があります。